



高齢者の医療・介護・介護予防・住まい・生活を支援



地域包括ケアシステムの推進

地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域の中で、必要に応じて、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みです。国では、団塊の世代が75歳以上となる平成37(2025)年を目途に、介護が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築の実現を目指し、各自治体への支援体制を整えております。

地域包括ケアシステムの構築は、東京圏を除く自治体にとって、今最も重要な課題のいずれですが、その概要は「介護保険事業計画」と「福祉計画」に大別されます。関市では「第7期高齢者プラン21」を今年3月に、美濃市でも「美濃市高齢者福祉計画」を今年1月に策定し、介護保険事業の

サービスの向上と円滑な運営、医療施設と介護施設そして住まいの連携、生活支援と地域連携、地域包括支援センターの機能強化等に向けて動き始めました。

岐阜県でも「第7期岐阜県高齢者安心計画」を今年3月に策定し、市町村だけでは対応しきれない介護・看護・医療等に携わる人材の育成や、広域連携に注力し、また数値目標を設定して高齢者の安心を推進すべく、計画を実施に移しております。

県内では特に中濃地区、東濃地区、飛騨地区で少子高齢化が深刻です。私は岐阜県と関市・美濃市相互の連携を緊密にし、高齢者の安心を確保する地域包括ケアシステムを円滑に推進するため、尽力してまいります。



陽光園夏祭



片知地区ぼた餅づくり



小倉地区グランドゴルフ大会にて



地元選出国會議員の武藤代議士、大野参議院議員、渡辺参議院議員と、力を合わせてがんばります。

これからも市民の皆さまと共に歩んでまいります。



地元要望箇所立会県・市・自治会・県議



美濃和紙用具ミュージアム会場式テープカット



下牧子ども園



障害者施設陽光園赤十字奉仕団



土木委員会視察国道248号線4車線化(関市地内)

私が目指す社会・地域

- ① みんなが健康で長生きができ、安心・安全な暮らしができる社会
- ② 少子高齢化が進むなか、子供が将来に夢をもって勉学にスポーツに励み、親として子育てのしやすい社会
- ③ 年齢を重ねても、生涯現役で生きいきと活躍のできる社会
- ④ みんなが自分の生まれて育った郷土を愛し、誇りをもって生活できる社会

さとう武彦プロフィール

- ・昭和32年生まれ 美濃市神洞に生まれる 射手座、O型
- ・昭和55年 岐阜大学工学部卒 佐藤バック工業所入社
- ・平成5年 (社)美濃青年会議所理事長
- ・平成8年 神洞小、美濃北中、武義高PTA会長歴任
- ・平成17年 岐阜県議会議員初当選
- ・平成26年 企画経済・教育警察・土木各常任委員長歴任
- ・平成28年 岐阜県監査委員
- ・平成28年 岐阜県議会第124代副議長就任



家族

妻
二男
一女
孫三人
趣味 読書